

熊野古道 通り峠

伊勢からの参詣道から分かれ、昔は吉野方面へ行く生活道で、朝8時ごろには魚を運ぶ人の姿がよく見られた。風の通りがよいところなので通り峠と呼ばれた。

注意:このコースは通り峠登り口よりお進み下さい。



千枚田が一望でき夕陽を見るポイント
(7月初旬~8月上旬)
3月頃にはこぼしの花がきれいです



所要時間(目安)

- 通り峠登り口
- ↓約30分
- あずま屋
- ↓約10分
- 熊野古道案内看板
- ↓約20分
- 大石(千枚田)
- ↓約30分
- ふれあい市場千枚田

展望台
登り約20分
下り約10分

展望所
車から千枚田が見える

子安地蔵
寛永4年に作られた

峠頂上 熊野古道案内看板
リンドウが多く見られる場所

絶景ポイント 紀和町から尾呂志地区へ
朝霧が流れていく様子が見える

大正時代の終わりまで炭を焼いていた窯
ここで作られた炭は小川口まで運ばれ
新宮市まで川を下り江戸まで船で運ばれていた

昔は刈り場だった。
刈り場とは昔、農業で
必要なススキなどを
採取する場所

この峠の石畳が小さいのは、雨が多い地域のため細長い石を使用し、水に強いように考えられている通り峠の特徴で道幅は狭い

ふれあい市場千枚田
名物『千枚田もち』販売
駐車スペース・普通自動車5台

通り峠登り口
案内看板(この先トイシなし)

まさかど博物館
「木彫工房 通り屋」

熊野古道案内看板

町内案内看板

風伝峠降り口

矢ノ川大平
バス停

千枚田・通り峠登り口
バス停

後地バス停

紀和町へ

風伝トンネル